

1. 教育計画

公衆衛生看護学

分野	統合分野 公衆衛生看護学	科目名	母子保健活動論
単位・時間	1 単位・15 時間	対象学年	4 年生
方法	講義	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	外部講師 永瀬 悦子 (8 時間) 外部講師 石井 恵 (2 時間) 法人講師 斎藤 綾乃、石川 夏海 (4 時間)		
学習目標	1. 母子保健活動の目的を理解し、母子保健活動の内容を理解する。 2. ライフステージ各期の対象の特性を理解し、保健活動の方法を理解する。		
成績評価方法	筆記試験 ※出席数及び態度に関しては参考にする		
使用テキスト	『保健学講座 公衆衛生看護活動展開論』メチカルフレンド社 その他、随時資料を配布する		
参考文献	『国民衛生の動向』		
履修上の留意	授業には積極的に臨んでほしい。		
講師からの メッセージ	広い視野で物事を捉えることができるよう頑張ってください。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	担当者
1	2	母子保健(親子保健)の概念	母子保健(親子保健)とは何か、母子保健(親子保健)の変遷	講義	永瀬
2	2	母子保健医療福祉施策	現在の主な母子保健医療福祉施策	//	永瀬
3	2	子どもの健康課題と支援	子どもの発育発達と生活 乳幼児健康診査と保健指導	//	永瀬
4	2	母子とその家族における健康課題と支援	支援ニーズの高い子どもと家族の健康課題に対する支援について	//	永瀬
5	2	地域における母子保健活動の実際	市町村での母子保健活動	//	石井
6	2	当法人の保健事業から見た専門職の	専門職(看護師・保育士)からみた子ども、 母親の抱える問題や現状	//	斎藤 石川
7	2	母子支援	地域で過ごす母子への関わり方や他職種との連携	//	
8	2	評価	筆記試験		永瀬